日本100名城

「日本100 名城公式ガイドブック」の中から、季節に応じて年に数回ずつ国内の名城を訪れます。現地の城専任ガイドの解説付き（一部除く）で見学し、各城に備えてあるスタンプを「公式スタンプ帳」に押印することで、自分だけの城印を記録することができます。

続日本100名城　福知山城（P54掲載コース）

第43回

掲載No 94　東京発 6AEE5T40　大阪発 6CEE5T40　東京・大阪発

バス2シート　ひとり　食事 朝1、昼2、夕1

〈再設定〉

北関東 箕輪城・金山城・足利氏館

▶最少催行人員：12名

山中に大切堀や土塁、石垣が残る「箕輪城」、方形居館を守る大規模な土塁と水堀が館の四周を巡る「足利氏館」、石垣や大手虎口などが復元整備され石垣の山城がよみがえる「金山城」の北関東の3名城をめぐります。

旅行代金(大人おひとり様)

出発日 決定	出発地	2人1室	1人1室
7月23日	東京発	64,000円	65,500円
	大阪発	85,000円	86,500円

※東京・大阪との共同募集コースです。添乗員は初日新大阪駅から最終日新大阪駅まで同行します。　※利用バス会社：群馬バス　※部屋タイプ：洋室　※金山城は片道15分ほどの山道を登り、城跡や曲輪などを周遊します。

行程　→バス　⇒航空機　…徒歩　＝列車　～船　++その他

	行程	
1	東京（11:00～12:00発）＝大宮＝高崎	新大阪（8:00～9:00発）＝京都＝名古屋＝東京＝高崎
	→**【16番】箕輪城**（多数の曲輪が山上に展開した巨大な平山城）→夕刻:高崎ワシントンホテルプラザ泊	
2	朝:宿→**【17番】金山城**（山城ながら城のほぼ全てが石垣造）→**【15番】足利氏館**（鎌倉時代の有力御家人・足利氏の居館）→	
	高崎＝東京（16:00～17:00着）	高崎＝東京＝名古屋＝京都＝新大阪（19:00～20:00着）

第44回

掲載No 95　大阪発 6CEB5T50　大阪発

バス2シート　ひとり　食事 朝1、昼1、夕1

北東北 根城・盛岡城・久保田城

▶最少催行人員：10名

中世の陸奥南朝方の拠点となった城で発掘調査に基づいて主殿や馬屋が復元された「根城」、東北では珍しい花崗岩の見事な高石垣がそびえ立つ南部氏代々の居城「盛岡城」、伝統的な土塁技術で築かれた佐竹氏の城で、今も土造の城の面影が残る「久保田城」など北東北の3名城を訪ねます。

旅行代金(大人おひとり様)

出発日 決定	2人1室	1人1室
9月10日	95,000円	97,000円

※全行程添乗員が同行します。　※利用バス会社：岩手県北自動車、弘南バス、十和田観光電鉄、三八五バスのいずれか　※部屋タイプ：洋室

行程　→バス　⇒航空機　…徒歩　＝列車　～船　++その他

	行程
1	伊丹空港（11:15～13:30発）⇒青森または三沢空港
	→**【5番】根城**（中世の陸奥南朝方の拠点となった城）→盛岡（郷土料理夕食）→夜:ホテルルートイン盛岡駅前泊（ラジウム人工温泉）
2	午前:宿→**【6番】盛岡城**（南部氏が二つの川の合流点に築き上げた堅城）→**【9番】久保田城**（伝統的な土塁技術で築かれた佐竹氏の城）→
	秋田空港⇒伊丹空港（19:40～20:40着）

第45回

掲載No 96　大阪発 6CEA5T60　大阪発

バス2シート　ひとり　食事 朝1、昼1、夕1

NEW 道東 根室半島チャシ群跡

▶最少催行人員：10名

北海道道東の100名城へ。海岸台地の上に壕をめぐらせたアイヌのチャシ群跡をめぐります。「チャシ」とは砦や柵による囲い意味するアイヌ語で、16～18世紀につくられました。戦闘・祭事・集会など多目的に使われていたアイヌの城です。

旅行代金(大人おひとり様)

出発日	2人1室	1人1室
10月15日	101,000円	102,000円

※全行程添乗員が同行します。　※利用バス会社：くしろバス、阿寒バス、根室交通のいずれか　※部屋タイプ：洋室　※現地合流についてはP59をご参照下さい。
※道南の100名城と併せて2泊3日コースの予定で一部の事前案内をいたしましたが、行程に無理が生じますのでコースは別々にさせていただきます。

行程　→バス　⇒航空機　…徒歩　＝列車　～船　++その他

	行程
1	伊丹空港（9:20～10:50発）⇒羽田または新千歳空港⇒釧路空港
	→夕刻:根室・根室イーストハーバーホテル泊（夕食は市内食事処へご案内）
2	朝:宿→**【1番】ノッカマフ1・2号チャシ跡→オンネモトチャシ跡**→納沙布岬→
	釧路空港⇒羽田または新千歳空港⇒伊丹空港（18:30～20:00着）

第46回

掲載No 97　大阪発 6CEA5T70　大阪発

バス2シート　ひとり　食事 朝1、昼2、夕1

NEW 道南から津軽 五稜郭・松前城・弘前城

▶最少催行人員：10名

幕末に築造された日本最大の星型西洋式土塁の五稜郭。日本式で築かれた最後の近世城郭の松前城。東北で唯一の現存天守をもつ津軽氏歴代の城の弘前城。北海道新幹線を利用して、道南から津軽の三名城を効率良くめぐります。

旅行代金(大人おひとり様)

出発日	2人1室	1人1室
11月12日	98,000円	99,000円

※全行程添乗員が同行します。　※利用バス会社：ケーエス北の星観光バス、大沼交通、道南バスのいずれか　※部屋タイプ：洋室　※現地合流についてはP59をご参照下さい。　**※根室チャシ群跡と併せて2泊3日コースの予定で一部の事前案内をいたしましたが、行程に無理が生じますのでコースは別々にさせていただきます。**

行程　→バス　⇒航空機　…徒歩　＝列車　～船　++その他

	行程
1	伊丹空港（11:00～12:00発）⇒函館空港
	→**【2番】五稜郭**（星型をした西洋式土塁）→夕刻:ルートイングランティア函館五稜郭泊（温泉大浴場、市内食事処にご案内）
2	朝:宿→**【3番】松前城**（日本式で築かれた最後の近世城郭）→木古内＝北海道新幹線＝新青森→**【4番】弘前城**（東北で唯一の現存天守をもつ津軽氏歴代の城）→
	青森空港⇒伊丹空港（19:00～20:00着）